

令和2年3月30日

学校法人 北埼玉学園 グルノーブル美容専門学校
校長 弓削 竜也 殿

学校関係者評価委員会
委員長 清水 磨

学校関係者評価委員会報告

令和元年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 清水 磨 (株式会社NEO 代表取締役)
- ② 寺沢 剛 (神川町立神川中学校 校長)
- ③ 野口 聡 (株式会社きくや美粧堂 営業三課サブリーダー)
- ④ 水野 有喜 (プルデンシャル生命保険株式会社)
- ⑤ 野邊 拓真 (平成26年度 高等課程 卒業生)
- ⑥ 佐々木 清孝 (高等課程1年生保護者)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

- 第1回委員会 令和元年11月25日 (会場 グルノーブル美容専門学校 会議室)
第2回委員会 令和2年2月17日 (会場 グルノーブル美容専門学校 会議室)
第3回委員会 令和2年3月30日 (会場 グルノーブル美容専門学校 会議室)

3 学校関係者評価委員会報告

別紙のとおり

以上

学校法人 北埼玉学園
グルノーブル美容専門学校
学校関係者評価報告書
【令和元年度】

令和2年3月

学校関係者評価委員会

目次

I 概要	4
目的.....	4
評価対象期間.....	4
基本方針.....	4
学校関係者評価委員名簿.....	4
実施時期・業務内容.....	4
II 学校の理念・教育目標	5
教育理念 ※平成 29 年 6 月制定.....	5
教育目標.....	5
III 本年度の重点目標と達成計画	5
令和元年度 重点目標.....	5
達成計画・取組方法.....	5
IV 評価項目別取組状況・自己評価結果	6
基準 1 教育理念・教育目標.....	6
基準 2 教育活動・教育成果.....	8
基準 3 学生の募集と受け入れ.....	11
基準 4 教職員組織.....	14
基準 5 教育環境.....	17
基準 6 学生支援.....	19
基準 7 管理・運営.....	22

I 概要

目的

学校法人北埼玉学園グルノーブル美容専門学校（以下「御校」という。）における学校関係者評価は、御校が実施・公表する自己評価報告書の検証と評価を行い、更なる教育の質の向上と、学校運営の改善を図ることを目的とし取り組むものである。

評価対象期間

平 31 年 4 月 1 日～令和 2 年 3 月 31 日

基本方針

御校における学校関係者評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」より策定した項目により実施することとする。

学校関係者評価委員名簿

区分	氏名	所属	役職
企 業	清水 磨	株式会社 NEO	代表取締役
	野口 聡	株式会社きくや美粧堂 営業三課	サブリーダー
	水野 有喜	プルデンシャル生命保険	
教 育	寺沢 剛	神川町立神川中学校	校 長
保護者	佐々木 清孝	株式会社マイロジスティクス	所 長
卒業生	野邊 拓真	株式会社吉岡	社 員

実施時期・業務内容

No.	業務区分	内容	態様	時期	業務量
1	書面調査・ヒアリング	評価方針等会議	会議	令和元年 11～12月	2時間
2	ヒアリング 施設確認	意見交換 施設見学	会議 視察	令和2年 1～2月	2時間
3	評価書作成	評価の決定	会議	令和2年 3月下旬	2時間
計	※述べ実日数3日（1日当たり約2時間程度） ※ヒアリング調査及び訪問調査は同日に実施。 ※部会における評価は協議のうえ決定する。				6時間 (2h×3回)

II 学校の理念・教育目標

教育理念 ※平成 29 年 6 月制定

グルノーブル美容専門学校 学校理念「美」「心」「技」

「美」私達は、常に美を追求し進化し続け社会に貢献します。

「心」私達は、常に「ありがとう」と言える素直な心を大切にします。

「技」私達は、常に高い技術と知識を身に着け成長し続けます。

教育目標

教育基本法に則り学校教育法に従い、美容並びにデザイン業務に関する知識と技術を授けるとともに、一般教養を高め有能な職業人、社会人を育成することを目標とする。

学内での共有及び各担任を通じ全校生徒へ通達を行い、レベル別個別指導（全日制課程）及び個別補講（通信課程）の実施に努める。

委員会より：

前年に比べ改善は見られたが、更なる努力に期待する。

III 本年度の重点目標と達成計画

令和元年度 重点目標

1. 国家試験の合格率 100%目標
2. 広報活動の拡充
3. 中途退学防止等、生徒指導とフォローの徹底。

達成計画・取組方法

1. レベル別個別指導・個別補講の実施。毎年、国家試験の合格発表を行い、その後職員会議を開催し、次年度目標到達の為に再指導を徹底する。
2. 公式ホームページ <https://gurubi.jp> のリニューアル実施を行う。
3. 教務主任及び担当教員らによる生徒指導・生活指導の徹底及び、校則等規約の入学時での配布などを徹底する。

委員会より：

学校情報の公開は増えた印象だが、閲覧者の為にもより詳しいものを希望する。

IV 評価項目別取組状況・自己評価結果

※評価数字の意味

- 4 適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。
- 3 ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組が期待される。
- 2 対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。
- 1 全く対応しておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

基準 1 教育理念・教育目標

総括と課題

1. 社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。
2. 国家試験合格率 100%を目指す。
3. 就職率 100%を目指す。

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	自己評価	4
-----	-------------------------	------	---

チェック項目

- 理念に沿った目的になっているか。
- 理念等は文書化するなど明確に定めているか。
- 理念等において専門分野の特性は明確になっているか。
- 理念等を実現するための具体的な目標・計画・方法を定めているか。
- 理念等を学生・保護者、関連業界等に周知しているか。

現状の取組状況

現在実施している教育理念・教育目標の明示は、書面や便覧による通達・配布のみで、インターネットによる公表等は、沿革も含め行っていない。

委員会評価：4

国家試験合格率 100%目標、就職率 100%目標等を目指し、引き続き更なる向上に努めること。

1-2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	自己評定	4
-----	-----------------------------	------	---

チェック項目

- 課程（学科）毎に卒業までに、関連業界等が求める知識や技術、技能並びに人間性等、人材要件を満たす体制づくりがなされているか。
- 教育課程や授業計画（シラバス）等の作成において、関連業界等からの協力を得ているか。
- 選任・兼任（非常勤）に関わらず、教員採用に於いて関連業界等からの協力を得ているか。
- 学内外に関わらず。実習の実施に当たって関連業界等からの協力を得ているか。
- 教材等の開発において、関連業界からの協力を得ているか。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。引き続き更なる向上に努めること。

1-3	教育理念並びに教育目標は定期的に見直しされているか。	自己評定	4
-----	----------------------------	------	---

チェック項目

- 理念等の達成に向け、特色ある教育活動に取り組んでいるか。
- 特色ある職業教育に取り組んでいるか。
- 目標・目的は適切であるか。

現状の取組状況

4月に試験等の結果を掲示し、次期目標の為に適宜会議を設け対策を検討している。また、点数を評価し、各教員の配置や外部の働きかけを分析し、都度反省会を行い検討している。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。但し次年度は変化を求めたい。

1-4	教育理念並びに教育目標が教職員や学生に浸透しているか。	自己評定	3
-----	-----------------------------	------	---

チェック項目

- 中期的（3～5年程度）視点で、学校の将来構想を定めているか。
- 学校の将来構想を、教職員に周知しているか。
- 学校の将来構想を学生及び保護者、関連業界等に周知しているか。

現状の取組状況

教育理念を学生便覧等で配布し、入学及び卒業時の式辞で明言しているが、学校の将来構想について保護者や関連業界等、特に外部への公表はしていない。

委員会評定：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組みに努めること。

基準2 教育活動・教育成果

総括と課題

1. 教育内容における専門性の点検及び今後の方向性の模索をする。
2. 優良学生をより引き上げる特別プログラムの実施を検討する。
3. コンテストや資格試験など、教育効果を客観的に評価できるものに挑戦する。

改善方策

国家試験合格率の向上に向け更なる問題の抽出と解決策の模索を行う方針。

補講内容は適切か適宜見直しと検討を行う。

コンテスト等の参加奨励による生徒の意欲・技術向上と各種コンテストおよび模擬試験等の導入と周知を徹底する。

委員会より：

引き続き、サロン実務を意識した教育活動を行って欲しい。

2-1	カリキュラムは教育目標が反映されているか。	自己評価	3
-----	-----------------------	------	---

チェック項目

- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。
- キャリア教育及び実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。

現状の取組状況

理念および目標に則り、各担当教員にシラバスの作成と提出を指示している。作成されたシラバスを基にカリキュラムの作成に取り組んでいる。

委員会評価：3
改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

2-2	定期的カリキュラムの見直しがなされているか。	自己評価	3
-----	------------------------	------	---

チェック項目

- 授業計画の管理体制や業務分担を明確にしているか。
- 授業計画の進捗管理状況及び見直しの時期・内容を明確にしているか。
- 中期計画（3～5年程度）を定めているか。
- 単年度の事業計画を定めているか。

現状の取組状況

適宜取り組んでいる。

委員会評価：3
改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

2-3	シラバスが作成され学生に配布されているか。	自己評価	3
-----	-----------------------	------	---

チェック項目

- 教育理念に沿った教育課程の編成・実施方針が策定されているか。
- 授業評価の実施及び評価体制を取り入れているか。

現状の取組状況

学生便覧や学校案内のパンフレットなどに掲載し、周知に取り組んでいる。

委員会評定：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

2-4	授業の点検評価が適切に実施されているか。	自己評定	3
-----	----------------------	------	---

チェック項目

- 外部関係者からの評価を取り入れているか
- 授業評価の実施及び評価体制を取り入れているか。

現状の取組状況

生徒及び教職員に校内アンケートを実施し結果を共有している。また、職員会議を定期的
に実施し職員間で共有・対策している。

委員会評定：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

2-5	目標に到達しない学生に対し適切にフォローがなされているか。	自己評定	3
-----	-------------------------------	------	---

チェック項目

- 成績評価及び単位認定、進級並びに卒業判定の基準は明確になっているか。
- フォローにあたる教職員は確保できているか。
- 補講授業は適切に行われているか。

現状の取組状況

目標未到達の生徒への個別指導・補講の実施。学期ごとに出席簿を確認し、欠席が多い生
徒に対して担任を通じた呼び掛けや、保護者との面談の場を設置するなど生徒指導に取り
組んでいる。また、放課後の居残りや個別に課題を提出してもらうなど、夏季・冬季講習
を設け補講を実施するなどの工夫も行っている。

委員会評定：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

2-6	美容師免許取得率の向上が図られているか。	自己評価	3
-----	----------------------	------	---

チェック項目

- 資格取得等に関する指導体制及びカリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか。
- 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか。

現状の取組状況

10～11月、1月の2回に分けて国家試験と同程度の見極め試験を導入。60点以下の生徒に個別指導を行うなどの基準を設け、再指導に取り組んでいる。また、模擬試験を実施し不得意分野を明確にしたうえで分析を行い、再度フォローや指導にあたっている。

委員会評価：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

委員会より：

教員の積極的な指導に期待したい。

基準3 学生の募集と受け入れ

総括と課題

1. ビューティーファッション系の反応者を増やす戦略を立案する。
2. 体験入学の実施方法を検討し、体験入学からの出願率を50%以上にする。

改善方策

体験入学からの出願率は全科平均で目標を達成したが、募集対象者との接点が減少しているので、改善する工夫や仕組みの更なる研究が必要。

委員会より：

取組に対して、更なる進歩と改善を求む。

3-1	学生募集のための広報資料の表現内容、並びに広報活動の方法・時期は適切か。	自己評定	4
-----	--------------------------------------	------	---

チェック項目

- 学生募集活動において資格取得・就職状況等の情報は正確に伝えられているか。
- 公式ホームページ等は生徒や保護者の必要とする情報であるか。
- 適切な情報公開を行っているか。
- 公式ホームページ等は理念および目標が読み取れるものになっているか。

委員会評定：3

「Ⅲ本年度の重点目標と達成計画」に記載した、閲覧者の為にも学校行事等をより詳細な情報を希望することに加え、SNS等を活用して広報活動の強化を行って欲しい。

3-2	入学案内には志願者が必要とする情報は掲載されているか。	自己評定	4
-----	-----------------------------	------	---

チェック項目

- 高等学校等接続する機関に対する情報提供等の取組が行われているか。
- 教育到達レベルは、理念等に適合しているか。
- 資格取得の意義及び取得指導・支援体制を明確にしているか。
- 取得指導・支援体制を整備しているか。

現状の取組状況

資料請求者や体験入学者へ後追い架電やメール、LINE等での個別相談を徹底している。また学外では各高等学校及び中学校への学校廻りも実施している。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。引き続き更なる向上に努めること。

3-3	募集要項の内容は適切か。	自己評価	4
-----	--------------	------	---

チェック項目

- 志願者・保護者、各高等学校及び中学校が必要とする情報を掲載しているか。
- 社会人、学生それぞれに沿った内容が掲載されているか。
- 学生納付金は妥当なものになっているか。

現状の取組状況

学生納付金については、生活が困難な世帯に対し奨学金及び各種給付金制度の紹介に努めている。

委員会評価：4
適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

3-4	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切であるか。	自己評価	4
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 学生募集活動は適正に行われているか。
- 募集活動の内容は適宜見直しを行っているか。

現状の取組状況

隔週土曜日にオープンキャンパス（体験入学）を約2時間かけて定期的実施している。内容は学校紹介のプロモーションビデオ鑑賞及び、在校生・教員を交えたディスカッション形式での体験授業の導入、カット体験授業の実施など、美容師に関する基礎知識や学費等の悩みまで、保護者との相談会も交えて取り組みを継続している。また遠方からの学生に対し入寮を検討している場合、寮見学も同時に行っている。

委員会評価：3
改善の余地あり。プロモーションビデオの情報が古いので、作り替えの検討をして欲しい。

3-5	志願者状況、定員充足率はどうか。	自己評価	3
-----	------------------	------	---

チェック項目

- 学生募集活動は適正に行われているか。
- 学生募集活動において資格取得、就職状況等の必要な情報は正確に伝えられているか。
- 学生納付金は妥当なものとなっているか。

現状の取組状況

適宜取り組んでいる。

委員会評価：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の取組に努めること。

委員会よりひとこと：

学校説明会・体験入学については実施回数の見直しを行い、実施にあたってはデリバリー方式を導入するなど、更なる向上と工夫に期待する。

基準4 教職員組織

総括と課題

1. 経験年数の少ない教員の指導を行う。
2. 分掌を見直し、各教員の役割分担を明確にする。
3. 企画力と行動力のある教育体制づくりを目指す。
4. 生徒とのコミュニケーション能力の改善。

改善方策

各担当部門のセミナーや講習・説明会に赴いてもらうなどの体制を整えている。
活用できる人材育成及び教育プログラムは積極的に導入している。

委員会より：

生徒の質の向上を期待するのであれば、教員の更なるレベルアップを図ることも強化して欲しい。

4-1	専任教員は設置基準を満たしているか。	自己評価	4
-----	--------------------	------	---

チェック項目

- 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を携えた教員を確保しているか。
- 生徒数に対し十分な教員は確保できているか。

現状の取組状況

必要要件を満たしており、定期的な見直しを行うなど管理体制を整えている。

委員会評価：4
適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

4-2	専任教員 1 人当たりの担当課目時間数は適切か。	自己評価	4
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 理念・目標に沿った内容であるか。
- 卒業時の到達目標が確認できるものであるか。
- カリキュラムに沿って均等に教員を振り分けているか。

現状の取組状況

専用シートを作成し管理体制を整えている。

委員会評価：4
適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

4-3	教職員の業務分掌は明確になっているか。	自己評価	3
-----	---------------------	------	---

チェック項目

- 担当教員の業務内容はバランスが取れたものであるか。
- 定期的な人事考課は実施されているか。

委員会評価：3
改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の策定に努めること。

4-4	教職員の能力、業務分掌の評価を定期的に実施しているか。	自己評価	4
-----	-----------------------------	------	---

チェック項目

- 関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や、教員の指導力の育成など、資質向上のための取組が行われているか。
- 教職員の能力開発のための研修等が行われているか。

現状の取組状況

各担当の専門分野におけるセミナーやフォーラム、講習、説明会などに積極的に参加させている。また教職員の業務に必要な講習に、外部の各専門講師へ依頼する、人材育成に取り組んでいる。

委員会評価：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

4-5	職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか。	自己評価	3
-----	----------------------------	------	---

チェック項目

- 関連分野における業界との連携において、優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど、マネジメントが行われているか。
- 人事考課は適切であるか。
- 採用方法の基準は明確であるか。

現状の取組状況

適宜取り組んでいるが改善の余地あり。

委員会評価：3

改善の余地あり。更なる課題の抽出と改善方策の策定に努めること。

基準 5 教育環境

総括と課題

1. 校舎内外の整理・整頓・清掃を心がける。
2. 快適な教育環境の管理と今後の投資計画を検討する。

改善方策

学校内の照明を一部 LED に変更。

外観点検と総合点検を各、年 1 回実施している。

5-1	講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか。	自己評価	4
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 卒業生に施設・設備を提供しているか。
- 学生の休憩・食事のためのスペースを確保しているか。

委員会評価：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

5-2	実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか。	自己評価	4
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 定員数は規定に即したものであるか。
- 防災に対する体制は整備されているか。

委員会評価：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

5-3	講義室、実習室の管理は適切に行われているか。	自己評定	4
-----	------------------------	------	---

チェック項目

- 清掃は適宜行われているか。
- 管理者が設置されているか。

現状の取組状況

各クラスの生徒自身による整理整頓を呼びかけている。

委員会評定：4
徐々に改善されつつあるが、更なる改善に期待する。

5-4	図書は適切に設備されているか。	自己評定	3
-----	-----------------	------	---

チェック項目

- 必要な図書が備わっているか。
- 蔵書目録は作成されているか。
- 関連分野の図書は備わっているか。

現状の取組状況

関連分野における書籍や雑誌は一通り取り揃えている。古くなり更新されていない書籍・雑誌を近々更新する予定。

委員会評定：3
改善の余地あり。書籍の見直しを検討して欲しい。

5-5	教育用機器備品は設備されているか。	自己評定	4
-----	-------------------	------	---

チェック項目

- 学科用の設備機器備品は備わっているか。
- 実技講習に必要な機器備品等は備わっているか。
- 機器備品等の管理が行き届いているか。

現状の取組状況

適切に設置、管理している。

委員会評定：4
適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

基準6 学生支援

総括と課題

1. 就職内定率を90%以上にする。
2. 新しいインターンシップ先を開拓する。
3. 学生の経済的側面に対する支援が全体的に設備され、有効に機能しているか。
4. 学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。
5. 保護者と適切に連携しているか。

6-1	奨学金等、経済的支援は設備されているか。	自己評定	4
-----	----------------------	------	---

チェック項目

- 学生相談に関する体制は整えられているか。
- 学生の生活環境への支援は行われているか。
- 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか。

現状の取組状況

担当職員による電話での個別相談や、一人暮らしをする生徒に対し家賃補助を行う「一人暮らし支援制度」の取組など、この他にも奨学金担当職員による奨学金制度（日本学生支援機構）の案内等、各種取組を行っている。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

6-2	学生相談、カウンセリングに関する体制が設備機能しているか。	自己評定	4
-----	-------------------------------	------	---

チェック項目

- 保護者と適切に連携しているか。
- 進路指導、相談など適切に依頼されているか。

現状の取組状況

担当教員による個別相談やカウンセリング等を、オープンスタイルなら就職コーナーで、プライベートなら応接室で随時対応している。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

6-3	各学校行事について、適切な事後反省を行っているか。	自己評定	4
-----	---------------------------	------	---

チェック項目

- 生徒の健全な心身育成を目的とするものであるか。
- 目的・趣旨に沿った内容であるか。

現状の取組状況

適宜実施している。各行事（入学式、卒業式、文化祭、ワインディング大会、球技大会、修学旅行）において都度反省会を行い、教職員間で共有し今後の対策に活かしている。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

6-4	進路活動に関する支援が設備され、機能しているか。	自己評定	4
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 関連分野における企業との連携体制は設備されているか。
- 情報共有は随時実施されているか

現状の取組状況

電話及び対面による個別相談や案内、セミナーを実施しており、進路担当教員による求人情報のとりまとめや生徒の個別相談にも対応している。また、関連企業を招致した校内ガイダンスなども行われている。

<p>委員会評定：4 適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。</p>			
---	--	--	--

6-5	新たな求人開拓の努力はしているか。	自己評定	4
-----	-------------------	------	---

チェック項目

- 保護者と適切に連携しているか。
- 常に最新の情報収集と共有に努めているか。

現状の取組状況

美容室以外の開拓も行っており、その中にはマツエクサロンやネイルエステサロンも含まれている。

<p>委員会評定：4 適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。</p>			
---	--	--	--

基準 7 管理・運営

総括と課題

1. 教員間、職務間の連携を行うように、組織間の仕組みを構築する。
2. 運営方針は定められているか。
3. 運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか。
4. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

7-1	理事会評議員会は適時適切に開催され、機能しているか。	自己評定	4
-----	----------------------------	------	---

チェック項目

- 事業計画及び予算案は明確であるか。
- 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

現状の取組

適時適切に実施している。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

7-2	理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	自己評定	4
-----	------------------------------	------	---

チェック項目

- 理事会および評議員会の決定プロセスは明確になっているか。
- 寄付行為の定期的な点検と見直しが行われているか。

現状の取組

適宜適切に行われている。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

7-3	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか。	自己評定	4
-----	-------------------------	------	---

チェック項目

- 運営組織や意思決定機能は規則などにおいて明確化されているか。
- 私立学校法及び寄付行為の監事監査を行っているか。

現状の取組

進路・研修・教育・広報の4つの部会にて構成・連携をそれぞれ図っている。

委員会評定：4
適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

7-4	非常時の危機管理に対する周知は徹底されているか。	自己評定	3
-----	--------------------------	------	---

チェック項目

- 非常時において教員間の役割分担は明確化されているか。
- 避難経路等、避難誘導の方法は確立化されているか。

現状の取組

適時実施している。

委員会評定：3
改善の余地あり。引き続き更なる向上に努めること。

7-5	個人情報保護法を遵守しているか。	自己評定	4
-----	------------------	------	---

チェック項目

- 教職員への個人情報保護プロセスは明確になっているか。
- 周知・管理は徹底しているか。

現状の取組

生徒や保護者へ入学許可書発送時に同封し、了承を得たうえで記入してもらっている。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

7-6	学校の財務情報を公開する適切な体制が設備されているか。	自己評定	4
-----	-----------------------------	------	---

チェック項目

- 財務について会計監査が適正に行われているか。
- 内容は明確に且つ適切に管理されているか。

現状の取組状況

適時要望に応じて公開している。理事会および評議員会は定期的を実施され、各議事録は適切に作成および管理されている。組織間の連携は校長会を始め、4部会（進路・研修・教育・広報）を中心に連絡会議が行われている。

消防法は毎年見直しを行っている。

個人情報については予め収集目的を明示したうえで収集・利用・破棄している。

委員会評定：4

適切に対応していると思われる。現状の維持と、引き続き更なる向上に努めること。

以上